

## 模擬火災訓練

11月18日④に緑地運動公園で、吉岡町消防団による模擬火災訓練が行われました。総勢50人の消防団員が参加し、渋川広域消防署・南分署の協力のもと、約350mの距離を全分団のポンプ車が中継して水を運び、一斉に車上から放水し、消火の訓練をしました。また、県央アサノコンクリート(株)の協力により、ミキサー車から水槽へ給水作業の訓練も行い、消火栓のない場所での火災に備えました。



▲ミキサー車から水槽への給水作業

◀ポンプ車からの車上放水



## 三津屋古墳について ~八角形の謎を解く~ 講演会

11月20日④に文化財センターで講演会が行われ、約40人が参加しました。政治体制が大きく変化した7世紀後半に造られたと言われる三津屋古墳。参加者たちは熱心に聞き入り、町の古墳文化を知る機会になりました。



## 安全運転・交通事故防止を呼びかけ

12月8日④に北下鬼ヶ橋交差点で、町交通安全会が街頭啓発活動を行いました。信号待ちのドライバーに啓発物品を配布し、安全運転・交通事故防止を呼びかけました。この活動は、県内一斉の「冬の県民交通安全運動」にあわせて行われたものです。



## 防犯啓発活動を実施

年金受給日の12月14日④に、町防犯委員会と交番は、町内金融機関6カ所と店舗外ATM2カ所で振り込み詐欺の防犯啓発物品を配布しました。また、役場西駐車場、明治・駒寄両小学校、道の駅よしか温泉には防犯啓発の横断幕を設置しました。さらに、吉岡中学校へはインターネット犯罪の防犯啓発物品を配布しました。



## ファームドウ株式会社様から 町へ寄付

12月17日④、ファームドウ株式会社(代表取締役 岩井雅之氏)様から吉岡店の天田店長を通じて、町へ5万円の寄付をいただきました。ありがとうございます。町に支店をオープンして以来、16年間毎年寄付をいただいています。

ALTマイケルの徒然日記

## Michael's View

theme テーマ “オーストラリアと日本の小学校”  
“Australia vs Japanese Elementary Schools”

私は日本の小学校で約6年間教えています。それで、日本とオーストラリアの小学校の違いに気が付きました。はじめに、「制服」です。オーストラリアの公立の小学生は、毎日制服を着ないといけません。制服には、学校の帽子と白い靴下、黒い靴も含まれます。そして週に1日だけはスポーツユニフォーム(体育着)を着ます。日本の小学校ではスポーツユニフォームと帽子しかありませんね。

日本の小学校のとて素晴らしいところは「給食」でしょう。毎日、おいしくてバランスのとれた給食が出てきます。それと、両親が子どものランチを作らなくてもいいのです。オーストラリアでは、毎日お弁当を持っていかなければなりません。そして担任の先生は、毎朝生徒のランチの栄養バランスを確認します。日本では、毎日自分の学校を掃除します。それは教室をきれいに保つのにとてもいいですね。だからといって、オーストラリアの教室が汚いわけではありませんが、トイレはきれいに使われていません。誰も汚いトイレを掃除したいと思いません。清掃員と悪い児童が学校の掃除をするんです。一番面白いと思う違いは、オーストラリアでは生徒たちが自分の好きなスポーツボールを学校に持って行けることです。大体、全員のバッグの中にテニスボールが入っていて、休憩時間にさまざまなゲームをしていました。私は毎日サッカーボールを持って行きました。



小学生の私。  
可愛いでしょう?(笑)



平成31年

2019

# 成人式

1月13日㊤、文化センターで成人式が行われました。天候にも恵まれたこの日、晴れ着や袴姿に身を包んだ192人の新成人が出席し、成人としての誓いを新たにしていました。式典では、新成人を代表して小池豪樹さんに記念品が贈呈され、安田伊吹さんは「私たちが育ててくれた吉岡町に恩返しできる大人になりたい」と謝辞を述べました。また、受け付けや司会を務めた小・中学生ボランティアや、記念演奏を披露した船尾太鼓・吉岡中合唱部など、多くの人が晴れやかな門出を祝いました。



司会を務める中学生



小学生の受け付け



郷土芸能を披露する上州吉岡船尾太鼓



恩師代表 和田先生からの激励のこたば



安田伊吹さんの謝辞



記念品を受け取る小池豪樹さん



吉岡中合唱部の記念合唱



